

第51回 山梨県中学校柔道新人大会 実施要項

- 1 主 催 山梨県教育委員会・山梨県小中学校体育連盟・山梨県柔道連盟
- 2 主 管 山梨県小中学校体育連盟柔道専門部
- 3 日 時 令和7年10月19日（日） 集合8：00 9：30開会式
- 4 会 場 小瀬武道館 第二武道場
- 5 参加資格（1）山梨県内中学校に在学している男女。
（2）全日本柔道連盟及び山梨県柔道連盟に登録されており，市町村の運営団体及び山梨県小中学校体育連盟に承認を得た地域クラブ。※同一年度中は，最初に参加した所属チームからの変更は認めない。※今年度該当地域クラブはありません。
（3）大会に出場することに対し保護者からの同意書を取り，学校長の承認を得た者。
- 6 参加制限 男子団体戦；選手7名によって編成した1団体1チーム（3名以上可）。
女子団体戦；選手4名によって編成した1団体1チーム（2名以上可）。
※体重無差別で編成。
男子個人戦；4階級（-55kg・-66kg・-81kg・+81kg）
各階級各校2名参加
女子個人戦：4階級（-44kg・-52kg・-63kg・+63kg）
各階級各校3名参加
※選手は団体戦，個人戦ともに，同一地域クラブからのエントリーとする。
※関東・全国大会へ出場した選手は推薦選手として出場できる。
- 7 参 加 料 参加選手一人につき，500円とする。
参加料は参加申込書の原本を添えて，10月2日（木）の事前打ち合わせ会議に持参する。
※参加申込書にエントリー数と参加料合計金額を記入する欄がありますので，忘れずに記入をお願いします。
※納入された参加料については，主催者の都合等で中止になった場合を除き，返金はない。
- 8 試合方法 男子団体戦；5名による点取り戦。女子団体戦；3名による点取り戦。
いずれもトーナメント戦を原則とする。
男女個人戦；トーナメント戦を原則とする

（1）団体戦 ①団体戦は男女ともトーナメント形式の団体対抗戦得点法で行う。
②試合の勝敗は次の順によって決定する。
（ア）勝ち点の数により決定する。
（イ）勝ち点が同数のときは，内容により決定する。
（ウ）内容も同数の時は，任意の選手による代表戦によって決定する。
※参加状況で変更の場合あり。

- (2) 個人戦 ①個人戦は男女ともトーナメント形式個人試合法で行う。
②3位決定戦は行わない。

9 競技規則

(1) 審判規程

- ・国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定事項を含める。
- ・試合時間は、団体戦・個人戦ともに3分間とする。

(2) 勝敗の判定基準

優劣の成り立ちは「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」とする。

①団体戦

- ・団体戦においては、「技あり」以上又は、「僅差（指導の差2以上）」とする。ただし、代表戦においては個人戦に準ずる。

②個人試合

- ・個人試合においては、「技あり」または「指導」の差2以上とし、本戦で同等の場合は時間無制限のゴールデンスコア方式によって必ず勝敗を決する。※リーグ戦も必ず勝敗を決する。

(3) 脳震盪対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

10 表彰 (1)団体戦

優勝チームには優勝旗及び賞状を、2・3位チームには賞状を授与する。

(2)個人戦

各階級優勝者、2位、3位には賞状を授与する。

※表彰式は実施しない。

11 申込方法 (1)データ申込※エクセルデータ 令和7年 9月 24日(水)

アドレス hou83xiu55o@yahoo.co.jp 忍野中学校 後藤 秀哉 宛

エクセルデータに入力し、上記アドレスに送信をお願いします

(2)本申込 ①本申込書(ワード)に必要事項を記入してください

②印刷した後職印を押してもらってください

③職印のついた本申込書をPDFファイルにし、それを忍野中の後藤宛にメールで送信してください

本申込締切 令和7年9月24日(水) なお、原本は打ち合わせ会議の際に提出

- 12 組み合わせ 10月2日(木)に開催する新入大会事前打合せ会議で行う。
15:00～ ※会場：未定
- 13 外部指導者 当該校の学校長が認めた外部指導者がいる場合は、原則として監督と一緒にベンチに入ることができる。外部指導者のベンチ入りは1名とする。外部指導者の条件については、県小中体連の規則に準ずる。ただし、外部指導者規定を遵守し、これに従わない場合は退場になることもある。
- 14 ベンチ入り ベンチ入りができるのは、1校につき監督1名と外部指導者または副顧問1名の計2名、地域クラブ活動は1チームにつき監督1名とコーチ1名の計2名とする。登録者のみのベンチ入りとする。
- 15 その他 (1) 事前打合せ会議及び試合当日に顧問(支部の専門部委員含む)及び地域クラブ関係者(代理者も含む)の出席がない場合は、出場を認めないことがある。
- (2) 団体戦においては、シードは決定しない。
- (3) 男子団体試合出場権及び女子団体戦出場権は、各校及び地域クラブ1チームとする。※地域クラブの要件については、全日本柔道連盟及び山梨県柔道連盟に登録されており、市町村の運営団体及び山梨県小中学校体育連盟に承認を得た地域クラブとする。
- (4) 団体戦終了後に個人戦を行う。
- (5) 個人戦の計量の許容範囲は、±500gとする。
- (6) 試合は2試合場で行う。
- (7) 団体戦に出場せず、個人戦のみの出場でも、必ずその校の教員及び地域クラブ関係者(代理者含む)が監督すること。
- (8) 開会式は簡略化し、閉会式及び表彰式は行わない。
- (9) 観客については、10月2日の打合せ会議にて協議し、決定する。